

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	① 介護保険制度及び障がい福祉制度におけるサービス内容を体系的に理解できる。 ② 介護職の仕事内容をイメージできる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	2	2	0	<講義内容> ・研修課程全体の説明(項目相互の関連性) ・視聴覚教材を用いた各種介護保険サービス、介護保険外サービスの紹介。 ・介護保険サービス及び障がい福祉サービス他介護保険外サービスの種類と内容及び特徴の説明
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	0	<講義内容> ・視聴覚教材を用いた介護現場の紹介。 ・講師による体験談  <見学内容> ・特別養護老人ホームまたはケアハウス等の入所施設および訪問介護事業所やデイサービスセンター等の在宅事業所を、各事業の特徴の説明を交えて見学する。
(合計時間数)	6	6	0	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」及び職務の理解DVD			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	① 利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職として、介護・福祉サービスの基本的視点を理解し、その介護展開の方法を身につけるとともに虐待防止・身体拘束禁止などの倫理観を醸成する。 ② 自立・自律支援、介護予防の基本的視点を理解できる。 ③ 人権を身近なものとして捉え、理解・実践できるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	3	1	2	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・人権と尊厳の保持に係る基本的視点についての講義。 ・人権と尊厳の保持に係る諸制度・法制度の講義。 <演習内容> ・「身体拘束事例」について班体制を用いて、グループディスカッションを行う。
② 自立に向けた介護	4	1	3	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・具体例を交えた自立支援・介護予防の基本的視点についての講義。 <演習内容> ・「過剰介護」について班体制を用いて、グループディスカッションを行う。
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	<講義内容> ・身近な人権のことの具体例を交えた講義。 <演習内容> ・「身の回りの人権問題」について班体制を用いて、グループディスカッションを行う。
(合計時間数)	9	4	5	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	① 介護職に求められる専門性、役割、多職種協同の重要性を理解できる。 ② 介護職に求められる高いモラル意識を醸成できる。 ③ 介護現場でのリスクマネジメント全般についてその方法・知識について理解できる。 ④ 専門職として求められる健康管理について理解し、その意識を醸成できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・サービス事業ごと、専門職種ごとの特徴、役割、チームケアの重要性についての講義。 ・専門職としての介護職(エビデンスに基づく介護他)についての講義。
② 介護職の職業倫理	2	1	1	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・介護福祉士制度に基づく介護職に求められる高い倫理観についての講義。 ・サービス提供過程に係るモラルハザードの具体例を交えた講義。
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・介護現場におけるリスクマネジメントの実務についての講義。 <演習内容> 「ヒヤリ・ハッと事例」について班体制を用いたグループディスカッション
④ 介護職の安全	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・介護職のストレスマネジメントを具体例を交えて講義。 <演習内容> 「正しい手洗い」について手洗いチェッカーを用いて実践。
(合計時間数)	6	3	3	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」 手洗いチェッカー			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉のサービスの理解と医療の連携			
指導目標	① 介護保険制度の担い手として知っておくべき理念・知識について理解できる。 ② 介護職として行うことのできる、してはいけない医療行為について理解できる。 ③ 障がい福祉サービス全般についてその理念・知識について理解できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・介護保険制度創設の背景・動向、仕組み全般についての講義。
② 医療との連携とリハビリテーション	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・介護職としての医療行為を具体例を交えて講義。
③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	3	0.5	2.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・障がい福祉サービス諸制度の動向、仕組みについての講義。
(合計時間数)	9	1.5	7.5	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	① 対象利用者の身体的・心理的特徴を踏まえたコミュニケーション技法が習得できる。 ② チームケアの実践に必要な記録・会議運営について、その位置づけ・重要性を理解し、チームの一員として実践できるように知識・技術が習得できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・対象利用者の身体的・心理的特徴を踏まえたコミュニケーション技法についての講義。 <演習内容> 「非言語コミュニケーション」を用いた伝言ゲーム
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・介護現場における記録の目的・方法について具体例を交えた講義。 ・報告・連絡・相談の留意点について具体例を交えた講義。 ・ケアカンファレンス他会議運営の留意点について具体例を交えた講義。
(合計時間数)	6	3	3	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	① 老化に伴う高齢者全般の心身機能の変化について理解できる。 ② 高齢者に多い疾病とそれに対する介護職として知っておくべき留意点について理解できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うこととからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・老年期に起きる心身機能の変化について具体例を交えて講義。 <演習内容> 「老年期の喪失体験」について班体制を用いてグループディスカッション
② 高齢者と健康	3	1.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・高齢者に多い疾病とその対応・留意点について具体例を交えて講義。
(合計時間数)	6	3	3	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	① 認知症ケアの理念について理解できる。 ② 医学的視点から見た認知症の基礎知識と健康管理について理解できる。 ③ 認知症状の特徴とそれに伴う生活障がい理解し、認知症ケアを実践できるようになる。 ④ 認知症利用者を介護する家族への援助方法について理解し、実践できるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1.5	0.5	1	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・認知症ケアの基本的視点について講義。
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	0.5	1.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・医学的視点で認知症の病理、治療方法についての基礎知識について具体例を交えて講義。
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	1	0.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・認知症状ごとのケア手法について具体例を交えて講義。 ・認知症ケアの注意点について具体例を交えて講義。 <演習内容> 具体事例を用いたケーススタディ
④ 家族への支援	1	1	0	<講義内容> ・認知症利用者を介護する家族を取り巻く状況について、具体例を交えて講義。 ・レスパイトケアの具体例を交えて講義。
(合計時間数)	6	3	3	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	① 障がい者福祉の理念・基本的視点について理解できる。 ② 障がいごとの心理・行動の特徴とそれぞれの支援方法について理解できる。 ③ 障がい者を介護する家族への援助方法について理解し、実践できるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・障がい者福祉の理念についての講義。
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・障がいごとの心理・行動の特徴とそれに対する支援方法について具体例を交えて講義。
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・障がい者を介護する家族を取り巻く状況について、具体例を交えて講義。 ・レスパイトケアの具体例を交えて講義。
(合計時間数)	3	1.5	1.5	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。



## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	① コンプライアンスの基本とエビデンスに基づいたケアの実践について理解する。 ② こころのしくみとその影響についてケアに結び付けて理解できる。 ③ からだのしくみとその影響についてケアに結び付けて理解できる。 ④ 多種多様な生活習慣を理解し、利用者個々の価値観をケアに反映させることができる。 ⑤ 快適な居住環境に関する知識を理解し、福祉用具の種類とその支援方法を理解できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	5	3	2	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・コンプライアンスについて具体例を交えて講義。 ・エビデンスに基づくケア展開の重要性について具体例を交えて講義。
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	3	2	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・こころとからだの相関についてその影響と基礎的知識について、具体例を交えて講義。
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3	3	0	<講義内容> ・専門職として知っておくべきからだの仕組みについて、具体例を交えて講義。 <演習内容> ・ボディメカニクスの基本知識について実技(身体を動かして)を交えて説明。
④ 生活と家事	7	6	1	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・居宅・施設各々の生活場面の違いを具体例を交えて講義。 ・対象利用者の多様な生活習慣・価値観について具体例を交えて講義。 <演習内容> 「時代背景と生活様式・習慣、価値観」について班体制を用いてグループディスカッション
⑤ 快適な居住環境整備と介護	7	6	1	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・居住環境の整備方法、福祉用具それぞれの特徴・使用方法について具体例を交えて講義。 <演習内容> 「居住環境のバリアフリー化」について班体制を用いてグループディスカッション・ケーススタディ
(合計時間数)				
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」及び介護技術解説DVD			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(9) ころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	⑥ 整容介助に係る基礎知識を理解し、実技演習をとおして介助技術を取得できる。 ⑦ 移動・移乗介助に係る基礎知識を理解し、実技演習をとおして介助技術を取得できる。 ⑧ 食事介助に係る基礎知識を理解し、実技演習をとおして介助技術を取得できる。 ⑨ 入浴介助に係る基礎知識を理解し、実技演習をとおして介助技術を取得できる。 ⑩ 排泄介助に係る基礎知識を理解し、実技演習をとおして介助技術を取得できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑥ 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	1.5	4.5	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。 ・整容介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義。 <演習内容> 「衣服の着脱援助技術」「洗面場面の援助技術」について実技形式で実施。
⑦ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<講義内容> ・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。 ・移動・移乗介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義。 <演習内容> 「ベッド周りでの移動・移乗援助技術」「車椅子の操作方法(屋内外)」「視覚障がい者の付き添い援助技術(屋内外)」「ベッド上での体位交換方法」について実技形式で実施。
⑧ 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<通信学習課題の内容> ・選択問題とレポートの提出 <講義内容> ・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。 ・食事介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義。 <演習内容> 「食事介助(様々な食事形態を用いた)や飲水介助」「とろみのつけ方」「調理・食器の工夫」「介護用品を用いた食事姿勢の保持」について実技形式で実施。
⑨ 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<講義内容> ・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。 ・入浴介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義。 <演習内容> 「ベッド上での清拭介助」「足浴・手浴の介助」「入浴介助」について実技形式で実施。
⑩ 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<講義内容> ・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。 ・排泄介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義。 <演習内容> 「ベッド上での排泄介助」「トイレ・ポータブルトイレの介助」「尿瓶を用いた介助」「腹部のマッサージの仕方」について実技形式で実施。
(合計時間数)				
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」及び介護技術解説DVD			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	⑪ 睡眠に係る基礎知識を理解し、実技演習をとおして介助技術を取得できる。 ⑫ ターミナルケアに係る基礎知識を理解し、実技演習をとおして介助技術を取得できる。 ⑬ 介護過程とその展開方法について理解できる。 ⑭ 様々な介護場面における介助方法について、一連の中で臨機応変に実施できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
⑪ 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3	1.5	1.5	<講義内容> ・睡眠に関する基礎知識を具体例を交えて講義。 <演習内容> 「安楽姿勢」について介護用品の使い方を交え実技形式で実施。
⑫ 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	3	3	0	<講義内容> ・ターミナルケアに関する基礎知識を具体例を交えて講義。 <演習内容> 「エンゼルケア」についてエンゼルケア用品の使い方を交え実技形式で実施。
⑬ 介護過程の基礎的理解	6	6	0	<講義内容> ・介護過程の目的・展開方法を具体例を交えて講義。 <演習内容> 「具体事例」について、班体制を用いケーススタディ
⑭ 総合生活支援技術演習	6	6	0	<演習内容> 高齢分野から「片麻痺」事例と「認知症」事例について事例検討し、それぞれ事例について「排泄介助場面」「衣服の着脱介助場面」「食事介助場面」を実践形式で行い、その技術習得度を評価する。
(合計時間数)	75	63	12	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」及び介護技術解説DVD			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導體制を記載すること。

## シラバス

指定番号

42

商号又は名称

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団OSJ介護員養成スクール

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	① 実習を行うことで、専門職意識の醸成ができる。 ② 介護職として就労した後のキャリア形成についてイメージできる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	3	3	0	<実習内容> 訪問介護サービスに同行する。 ・サービス種類に関わらず、3hのサービスに同行する。 ・訪問介護員等に同行し、OJTを受ける。 ・実習日誌を受け、実習指導者が個別評価する。
② 就業への備えと研修修了後における実例	1	1	0	<実習内容> 訪問介護サービスに同行する。 ・サービス種類に関わらず、1hのサービスに同行する。 ・訪問介護員等に同行し、OJTを受ける。 ・実習日誌を受け、実習指導者が個別評価する。
(合計時間数)	4	4	0	
使用する機器・備品等	(発行)一般財団法人長寿社会開発センター 「介護職員初任者研修テキスト」			

- \* 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- \* 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- \* 時間配分の下限は、30分単位とする。
- \* 項目ごとに時間数を設定すること。
- \* 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。